

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年 6月 3日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	Swarthmore College
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界: 未定)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

フィラデルフィア郊外にある少数精鋭の大学で、学ぶ意欲がとても強い学生が在籍。授業にもよるが高学年の授業などは授業生が6-10人などで、教授との距離などもかなり近い。自身はsocial scienceを中心に受講したので理系科目についてはわからないが、social science系の科目については(教授にもよるが)課題読書量がかなり多い。

留学した動機

平和学への関心から、Peace and Conflict Departmentでより人権に関する知見を深めたいと思い留学。また、その分野に関心のある学生との議論などを通して視野を広げたり、また将来などについても日本とは違う視点から考えたいと思った。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	8月~	2018年	5月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2019年	学部4	年生の	4月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位				単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位				単位
	留学後の取得(予定)単位				単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2020年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					
2年間東大で学んだ上で、就職活動を始めの前に一度離れて新しい環境に身を置きたいと思った					

留学の準備					
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)					
Swarthmore側は丁寧に対応してくれるので特に心配することはない					
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)					
大学側はかなり早く必要書類を揃えてくれるので、あとは自身でアメリカ大使館への申請を早めに進めるなどが必要					
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)					
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)					
東大側が指定した保険に加入。Swarthmoreからも保険加入についての案内があるが、その際は東大側の保険に加入している旨を報告した。					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)					
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)					
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
銀行口座などをどうするかは早めに考えておいたほうが良いかもしれない					
学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Politics and Practice of Humanitarianism	1	●	Social Movement and Nonviolent Power	2	●
Political Anthropology	1.0	●	Borders and Migration	1	●
Social Entrepreneurship	1.0	●	Friends, Peace and Sanctuary	0.5	
Moral Philosophy	1	●	Cultures of the Middle East	1	●
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)					

基本的に平和学関連の授業を履修。必ずreadingを授業前に読み終える。Political Anthropology を教えていたProfessor Nadkarniは教えるのがとても上手だったのが印象的。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

基本的にみな4科目履修。毎日授業以外はかなり勉強に時間を割いていた。

④学習・研究面でのアドバイス

授業は基本的にハード。頑張ろうと思えば四六時中勉強のことを考えるくらい頑張れるし、手を抜こうと思えばある程度は抜ける。留学に行く前に事前に自分がどれくらい学問に力を入れたいかなどのイメージがあると過ごしやすいかもしれない

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

語学面で不安なことなどあったら教授もしくはacademic advisorにすぐに聞きにいける。じっくり話を聞いてくれる。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

寮。Questionnaire に答えると自動でマッチングされる。もしMary Lyonsに指定された場合、off campus で交通アクセスが悪く、一年しかいられない交換留学生には適していないと思うので(自分の時間を多く取りたい場合は別)、変えてもらえるようお願いするのも良いかもしれない

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は過ごしやすい。春夏秋は結構暖かくなるのでみんな芝生で勉強したりする。冬は結構寒く昨年は特に数回snow stormがあった。交通の便は良いとはいえない。電車は1時間に一本。なので、uberなどもうまく使う必要がある。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

Swarthmore周辺の治安は良い。学内は、学生数が少ないため不思議な相互監視が働いており、ものが盗まれるなどの不安はほとんどない。徹夜で体を崩さないようにちゃんと昼寝やしっかり夜寝などの体調管理が必要。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

生活費は外食と娯楽以外ほとんどかからない(食費は最初に払う額でカバーされるし、教科書代も最初のみ。プリンターはただ)。教科書代や授業料などを抜くと、1ヶ月4万以内に収まった。ただし、旅行をする場合は当然ながら余計にお金がかかった。

・留学に要した費用総額とその内訳	
月々の生活費4万、旅行40万、教科書代2学期で4万、月々の交通費5000円、+航空費、授業料、寮費	
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)	
Fung Scholarships	
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)	
アルティメット・フリスビー部、旅行	
派遣先大学の環境について	
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)	
かなりしっかりしている。一人一人にacademic advisorがついているのでなんでも聞ける。Academic advisorの中にたまたま一人日本人の女性がいるので、日本の大学生活との違いなどについてもわかってきていて、話しやすい。	
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)	
図書館は総合図書館のようなもの(McGabe)が一つ。あとはCornell Library, Underhill Libraryが主に使われる。図書館で勉強することがほとんどで、quiet hall以外は喋れるので、結構ガヤガヤしていることも。PCも借りられる。どこでもwifiつなげる。	
留学と就職活動について	
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど	
②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響	
gap year やfirst career含め、いわゆる日本の「就活」から離れることでより広い視野を持って考えられる土台が作られたように感じる。	
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)	
ボスキヤリに参加した。	
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください	
	1. 研究職
	2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:)
	3. 公的機関(機関名:)
	4. 非営利団体(団体名又は分野:)
	5. 民間企業(企業名又は業界:)
	6. 起業(分野:)
	7. その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

日本を一度離れることで自分のこれまでの環境を振り返り、就活も控える中でこれから自分がどう生活していきたいかなど、自分の価値観などについても考えることができた。

②留学後の予定

就活

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

かなりオープンに自分のことを話してくれる人たちばかりなので、ぜひ積極的にいろいろな人に話しかけて仲間を増やして欲しい。自分とは全く違う価値観を持った人たちもいるので、彼らと議論することでなぜこのような違いがあるのかなど、考えれることや考える視点がかなり広がると思う。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。